



アグリ筑西



2015 2月号

1年で一番寒い時期です。インフルエンザも流行していますので、お体に気をつけてください。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター) 発行
Tel: 0296(24)9206
Fax: 0296(24)6979

若手農業者がプロジェクトの成果を発表！～筑西地域プロジェクト実績発表会～

1月15日、ホテルニューつたやにおいて、筑西地域農業青年クラブ連絡協議会との共催で筑西地域プロジェクト実績発表会を開催し、管内4Hクラブ員や関係機関など約50名が参加しました。

第1部では、管内4Hクラブ員によるプロジェクト発表が行われ、下館4Hクラブ・関城4Hクラブ・大地のめぐみ・協和園芸4Hクラブの各代表による、白熱した発表や活発な質問が行われました。



第2部は、ウォーターセル株式会社 吉崎氏を講師に招き、「IT農業の現在と未来」と題して講演会を開催しました。講話では、現在、農機メーカーや他農業関連企業が提供している、農業向けITサービスの機能や特徴について分かりやすく説明いただきました。参加者は農業向けのITサービスに関心が高く、意見交換も活発に行われました。



プロジェクト実績発表の結果、下館4Hクラブの杉山善昭さんが発表した「水稻乾田直播栽培の可能性」が最優秀賞を獲得しました。杉山さんは、筑西地域代表として、2月9日に行われる県のプロジェクト実績発表会に出場します。発表内容は裏面に記載しておりますので、ご覧下さい。

農産物のブランド化について研修しました！～グリーンライフネットワーク研修会～

1月16日、グリーンライフネットワークとの共催で研修会を開催し、管内の女性農業者を中心に40名以上が出席しました。

研修会では、いばらき食のアドバイザー藤原浩氏を講師にお招きし、「いばらきの食の魅力、大発見～私たちの「おもてなし」を考える～」という演題で講演をいただきました。

講演では、農産物のブランド化や、視点を変えることの重要性、日本の伝統を守っていくことの必要性などについて、講師の経験も織り交ぜながら分かりやすく説明していただきました。出席者からも講師のこれまでの取り組みに感嘆の声が上がり、意見交換も行われるなど、農産物の付加価値販売に向けて有意義な研修会とすることができました。



茨城県功労者表彰・功労団体表彰に2組の方々が表彰されました！

昨年11月、茨城県功労者表彰・功労団体表彰が行われ、当普及センター管内からは、筑西市の上野登美子氏と、下妻市の「下妻食と農を考える女性の会」の2件が表彰されました。

上野登美子氏は長年にわたり女性農業士として活躍され、農村女性の資質向上、地域農業の振興に尽力されるとともに、農業後継者の育成にも携わられました。

「下妻食と農を考える女性の会」は、地域の食材を活かした特産加工品の開発・販売を行うほか、体験教室や食農教育等を積極的に行い、地域産業の振興と地域の活性化に尽力されました。

表彰された方々のさらなるご活躍が期待されます。



上野 登美子氏



下妻食と農を考える女性の会の皆様（市長への表敬訪問）

イネ縞葉枯病の防除に向けて ～関係機関で情報を共有しました～

12月17日、筑西合同庁舎において、イネ縞葉枯病の防除に向けた情報交換会を開催しました。当日は、筑西普及センター・結城普及センター管内のJA・市役所の担当者など約50名が参加し、昨年のイネ縞葉枯病の発生状況や、平成27年の作付けに向けた防除対策について情報交換を行いました。

会議の中では、農業研究所より昨年の試験結果が報告され、イネ縞葉枯病のウイルスを媒介するヒメトビウンカの防除には、殺虫効果の持続期間が長い育苗箱施薬剤の使用や、小麦刈取り期の本田防除などの対策が必要であることを確認しました。



「水稻乾田直播栽培の可能性」～筑西地域プロジェクト発表会最優秀賞作品～

水稻経営の規模拡大に向けては、育苗スペースの増加と、4月～5月の作業量増加が大きな問題です。この解決に向けて、移植栽培に変わる技術として乾田直播栽培に取り組むことにしました。

乾田直播栽培に取り組んだ結果、移植栽培よりも作業量の分散と省力化ができましたが、一方で、コスト増加と、実施できるほ場に限られるといった問題もありました。このことから、移植栽培とバランスを取って規模拡大を進めていくことが、乾田直播栽培を導入する上で最適だと考えられます。

今後は、さらなる省力化とコスト削減に向けて、施肥方法を検討していく予定です。

普及員のひとりごと ～加川 敬祐～

数年前から山のぼりにはまっています。最初は日帰りや山小屋泊まりのみでしたが、昨年からはテント泊登山や雪山登山にも足を踏み入れました。楽しみが増える一方で、だんだんと新しい道具が欲しくなり、物欲と戦う日々です。休日によく体を動かすようになって、日頃の仕事でも前より疲れにくくなったように感じているので、今年も安全登山にこころがけて楽しみたいと思います。

～編集後記～

今月号が配布される頃には、勝田マラソンを完走している（はず！）です。結果やいかに……。3月に桜川マラソンを走って今シーズンを締めます！

皆様からのご意見・情報お待ちしております。